



プレスリリース

報道関係各位

2025 年 11 月 5 日

特定非営利活動法人アジア人文文化交流促進協会

都民 20 人に 1 人が外国人、東京発の共生モデル「おとなりさんプログラム」 運営を支えるマンスリー寄付サポーターを募集開始（～12/25）

～つながりが途切れがちな年末年始に向け、“対話”を促し多文化共生の地域づくりを推進～

特定非営利活動法人アジア人文文化交流促進協会（東京都目黒区、理事長：石川憲彦、以下「JII」）は、2025 年 11 月 5 日（水）より、「小さな理解から広がる やさしい共生の未来」寄付プロジェクトを開始しました。本プロジェクトは 12 月 25 日（木）まで実施され、外国人と日本人がペアで交流する「おとなりさん・ファミリーフレンド・プログラム」をはじめ、行政手続き、医療、教育、福祉、ライフラインにかかわる課題を単発でサポートする「スポットおとなりさん」、外国にルーツを持つ子どもたちへの日本語学習支援「はなまるクラス」や、生活課題に専門家と連携して取り組む「くらしの相談」など、JII が展開する多文化共生の活動の運営を強化するために活用します。

本プロジェクトを通じて、マンスリーサポーター50 名の新規登録を目指し、継続的な支援の輪を上げながら、“お互いを知り、理解し合う”つながりを東京から育み、誰もが安心して暮らせるやさしい共生の未来を目指します。

「小さな理解」から広がる やさしい共生の未来
運営を支えるマンスリー寄付サポーター募集



おとなりさん
プログラム
運営

はなまる
クラス
運営

くらしの
相談窓口
運営



寄付プロジェクト概要



プロジェクト名	「小さな理解」から広がる やさしい共生の未来
実施期間	11月5日（水）～12月25日（木）
目標	新規マンスリーサポーター50名 個別寄付を含めて150万円
寄付金の使途	多文化共生プログラム「おとなりさん・ファミリーフレンド・プログラム」、行政手続き、医療、教育、福祉、ライフラインにかかわる課題を単発でサポートする「スポットおとなりさん」、外国人にルーツを持つ子ども向け学習支援教室「はなまるクラス」、「くらしの相談窓口」の運営維持費とJIIの活動費・事業拡大費
寄付のお申し込み	寄付プロジェクトサイト： https://j-ii.org/article_ja/2025donation/

寄付プロジェクト実施の背景と目的

アジア人文文化交流促進協会（JII）は、文化や国籍の違いを越えて人と人が理解し合える社会をめざし、東京を中心に活動しています。

日本には約395万人、東京には約72万人の外国人が暮らしており、都民の20人に1人が外国人です。多様性の高い都市でありながら、日常の中では言葉や文化の違い、地域のルールやコミュニケーションの壁によって、孤独を抱えたり、生活上のトラブルに発展するケースも少なくありません。JIIはこうした課題に対し、外国人と日本人が出会い、対話を通じて相互理解を深める「おとなりさん・ファミリーフレンド・プログラム（略称 OFP）」を2020年に開始。これまでに1,500人以上が参加し、90%を超えるマッチング成功率を実現してきました。食事やおしゃべり、日常の相談など、身近な関係づくりを通じて“違いを力に変える”共生のまちづくりを進めています。

また、行政手続き、医療、教育、福祉、ライフラインにかかわる課題を単発でサポートする「スポットおとなりさん」、外国にルーツを持つ子どもたちが日本語での学習をサポートする「はなまるクラス」や、外国人住民が直面する複雑な生活課題に専門家と連携して取り組む「くらしの相談」など、地域に根ざした多様な支援活動を展開しています。これらの取り組みの一つひとつが、「お互いを知り、理解し合う」社会の基盤を形づくっています。

年末年始など、職場や学校の知り合いが帰省したり、日本社会の多くの施設が休みに入る時期には、外国人住民にとって孤独や不安を感じやすくなります。生活のちょっとしたルールや慣習を相談できる相手がいないだけで、何気ない日常が大きな戸惑いになってしまうこともあります。

一方で、「日本の文化や年中行事をもっと知りたい」「地域の人と交流してみたい」といった前向きな声も多く寄せられています。JIIには、「年末年始、困りごとや不安を相談できる場所や人がいない」「お正月の過ごし方や地域の風習がわからない」「日本でのルールを事前に知っておきたい」という声が多く寄せられています。

今回の寄付プロジェクトでは、こうした時期に外国人が安心して過ごせるよう、マッチングや運営体制の強化を進めるとともに、継続的な活動基盤を支えるマンスリーサポーターを募集します。皆さまのご支援が、地域の中で外国人と日本人がつながり合い、“はじめての安心”や“ほっとできる



つながり”を生み出す力になります。

<皆様からの寄付（月額）を通じて、JII が新しく取り組みできること>

一人ひとりのご支援を、外国人住民と日本人が“対話”でつながる地域を育てることに繋がります。

- 3,000 円：外国人住民が役所などで直面する「手続きの困りごと」を 1 件サポート
- 5,000 円：外国人住民 1 人が、日本の暮らしに馴染むための半年間の交流をサポート
- 10,000 円：外国にルーツを持つ子どもたちの日本語学習クラスを 1 回開催
- 30,000 円：10 人の外国人住民が日本人と出会うきっかけの場を創出
- 100,000 円：地域の方々が多文化共生を学ぶ講座・イベントを開催



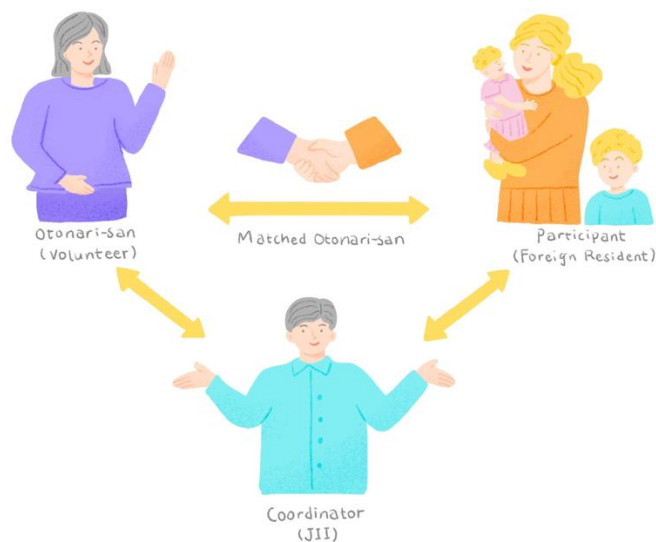
「おとなりさん・ファミリーフレンド・プログラム」での交流風景



外国人と日本人を繋ぐ「おとなりさん・ファミリーフレンド・プログラム」について

JII は外国人住民が日本に馴染みやすくすることをミッションに掲げています。2020 年に開始した「[おとなりさん・ファミリーフレンド・プログラム \(OFP\)](#)」は、日本人ボランティアと外国人住民が半年間ペアを組み、日常的にサポートや交流するプログラムです。食事やおしゃべり、買い物や子育ての相談など、ささやかな交流を通して“小さな理解”が生まれ、相互理解の芽が育っています。これまでに延べ 1,500 人以上が参加し、双方から高い満足の声が寄せられています。

参加者体験談はこちらから：[外国人参加者](#)、[日本人ボランティア](#)



その他、JII では外国人の生活支援や子どもの学び支援など、幅広く活動を展開しています。



- ・ [スポットおとなりさん](#)：行政手続き、医療、教育、福祉、ライフラインなど外国人住民の生活に欠かせない困りごとの単発サポート
- ・ [はなまるクラス](#)：外国にルーツを持つ子どもたちの日本語学習支援
- ・ [くらしの相談](#)：専門家と連携し、外国人住民の生活課題の解決を支援

川 チーフコーディネーター 小林 優里（こばやし ゆり）コメント



日本で暮らす外国人住民と地域社会との間には、まだまだ誤解やすれ違いがあります。時に、外国人ということで一括りに語られてしまうような場面もありますが、実際には、みな私たちと同じ地域で暮らす、ひとりの生活者です。「話してみる」「一緒に時間を過ごしてみる」——その小さな一歩が、見えない壁を越える力になると私たちは信じています。このキャンペーンを通して、そんな“対話のきっかけ”や“小さな理解”を少しずつ広げていきたいと思います。一人ひとりのご支援が、その歩みを支える大きな力になります。ぜひ、ご支援という形で“やさしい共生”の輪と一緒に広げていただけると幸いです。

特定非営利活動法人 アジア人文文化交流促進協会について

団体名：特定非営利活動法人 アジア人文文化交流促進協会

英文名：Japan Intercultural Intelligence(JII)

住所：東京都目黒区下目黒 5-27-5

代表者：理事長 石川 憲彦

設立：2010 年

団体ビジョン：多様性を活かした「文化共生」の理想を実現する

公式サイト：<https://www.j-ii.org>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

川 広報担当

E-Mail：info@j-ii.org

Tel：03-6452-3760